

国立高専機構 北九州工業高等専門学校

生産デザイン工学科 情報システムコース教員公募

1. 公募の背景と将来的意義

日本国内の IT エンジニア不足は 2030 年に最大約 79 万人に達すると予測されています。この深刻な需給ギャップの中、デジタルトランスフォーメーション（DX）を牽引する実践的技術者の育成は、地域経済の死活に直結する最重要課題です。

本公募は、単なる教員枠の補填ではありません。本学では「教育の質の高度化」と「現場即戦力」を重視した戦略的採用を実施します。本学を「地域における知の拠点」として再定義し、将来の改組を見据え、高度 ICT 教育を通じて地域産業にイノベーションを還元できる、変革のリーダーとなる人材を求めています。

2. 職名・人員

教授、准教授、講師または助教 1 名（採用職位は採用予定者の経験や業績等を考慮して決定します）

3. 所属学科

生産デザイン工学科 情報システムコース

4. 専門分野

以下に挙げる情報通信に関するいずれかの領域で研究できる人材を求めています。

- ・ 計算機科学、コンピュータアーキテクチャ、情報ネットワーク
- ・ ソフトウェア工学、情報セキュリティ
- ・ 数理情報学、機械学習、ニューラルネットワーク、統計科学、データサイエンス
- ・ 知能情報学、知覚情報処理、アシスティブ・テクノロジー、インクルーシブデザイン

5. 職務内容

高専教員の最大の特徴は、15 歳から 20 歳という、エンジニアとしての基盤が形成される「黄金期」の学生を指導することにあります。この多感な時期に、社会の最前線を学生に伝える社会的意義は極めて大きいものです。

5.1 教育・研究業務

初年度は以下に挙げる分野あるいはその関連分野に関する講義・実験実習および卒業研究の中から 3～4 科目程度をご担当いただく予定です。担当科目は採用予定者の職位、経験および業績等を考慮して決定します。実践的指導として、PBL（問題解決型学習）型授業を通じて、学生に社会課題解決スキルを伝授します。また、最新技術の公表に留まらず、地域産業との共同研究や社会実装を通じて還元することが求められます。

情報工学：

アルゴリズム、計算機アーキテクチャ、情報ネットワーク、データベース、ソフトウェア工学など

数理工学：

データサイエンス、人工知能、信号処理、制御理論、画像処理、情報理論など

応用数学：

計算論、数値計算、離散数学など

実験・実習：

学生チームが PBL（問題解決型学習）型のプロジェクトを通じて、社会課題解決に取り組む際、メンターとして学生チームのプロジェクト進行を支えます。

卒業研究・特別研究：

学生と密に関わり、共に課題を解決するプロジェクトマネージャー的な役割で、研究の社会実装や地域連携に取り組みます。

なお、採用 2 年目以降は、状況を鑑みて相談の上、決定します。担当科目は、採用予定者の専門分野や職位を考慮して決定します。開講科目の詳細については以下のシラバスをご参照下さい。

シラバスの URL <https://www.kct.ac.jp/campuslife/syllabus>

5.2 校務・運営業務

高専における生活指導は、学生が実践的・創造的な技術者として社会に出るための人間的土台を築く重要な役割を担っており、教員には学生一人ひとりに寄り添い、成長を手助けする情熱と責任感が強く求められます。

学級担任：

高専における学級担任の職務は、高等教育機関としての専門教育に携わりながらも、実態としては高等学校の教諭に近い、手厚い学生支援を軸としています。

一学級 40 名程度の学生一人ひとりの成績や出席状況を細かく把握し、必要に応じて個人面談を実施して学習意欲の維持や改善を図ります。特に高学年においては、就職や大学編入といった多様な進路選択に対して、個々の適性に応じた具体的なアドバイスや支援が重要な職務となります。

さらに、学生の悩みや家庭環境に配慮するため、保護者との密なコミュニケーションや面談を欠かさず、教職員同士で情報を共有しながら組織的に学生を支える姿勢が求められます。

学生寮の宿直：

全教員が交代で担当する「教育寮」としての宿直業務があります。具体的に、夜および朝の点呼、緊急時対応が含まれます。独立行政法人国立高等専門学校機構教職員給与規則 第 32 条に基づき、宿直手当が支給されます。

課外活動（クラブ顧問）：

原則として全教員がクラブ顧問を担当します。ロボコンやプロコン（プログラミングコンテスト）などの課外活動で専門性を活かせる場合があります。大会等の引率および技術・精神面で指導などの業務が含まれます。

学校運営：

高専における教員の業務は、自身の専門分野の教育・研究にとどまらず、組織の一員として多岐にわたる学校運営を分担して担うという強い特徴があります。

高専の組織運営は、校長を筆頭に教務、学生、寮務、広報などを司る主事や副校長が中核を担ってお

り、一般教員はその補佐役である主事補や、各種委員会の委員として具体的な職務を遂行します。これらの業務は、日々の情報共有や学校運営の方向性に関する意見集約を通じて、組織の一員として意思決定プロセスに関与することになります。

高専教員は自身の専門分野の研究や講義を行うだけでなく、学級担任、委員会や役職などを担当しながら、組織を維持・発展させるための行政的・管理的な実務を幅広く担うことが期待されています。

6. 応募資格

アカデミックな素養と、「グローバルなイノベーション文化」を醸成できる資質を評価します。

- (1) 博士の学位を有する方もしくは取得見込みの方。
- (2) 高等専門学校での教育、研究ならびにクラス担任、クラブ顧問、寮生活指導等の学生指導を含む各種校務にも熱意をもって取り組める方。
- (3) 単なる知識の伝達ではなく、最新の AI/ICT ツールを駆使して授業自体をアップデートしていく意欲を持つ方。
- (4) 言語の壁を超えて、多文化共生の視点を有する方。

教授採用の条件

- これまでの研究経験や知識を低学年からのキャリア教育指導に活かすことに意欲をもち、実績がある方
- 学校運営に関する業務に積極的に取り組む意欲をもち、組織運営の実績がある方
- 企業等での十分な在職年数や業績を有する方

7. 採用予定日

令和9年3月1日以降できるだけ早い期日

8. 提出書類

- (1) 履歴書(写真貼付) (第1号様式)
- (2) 著書・論文等一覧 (第2号様式)
- (3) 著書・論文の概要(3編以内) (第3号様式)
- (4) 第3号様式記載著書・論文の別刷 (コピー可)
- (5) 高等専門学校における教育・研究に携わる抱負 (第4号様式)
- (6) 企業における実務実績(企業からの応募者の場合) (A4用紙 任意様式)
- (7) 推薦書または教育・研究について問い合わせのできる方1名の連絡先(氏名・所属・住所・電話・E-mail、任意様式)
- (8) 提出書類記載内容に相違のないこと等の誓約書(第5号様式)

業務従事に当たっては、令和8年12月25日までに施行予定の学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律(令和6年法律第69号。以下「こども性暴力防止法」といいます。)に基づき、特定性犯罪の前科の有無を確認するための犯罪事実確認が必要となります。

特定性犯罪の前科がある場合(特定性犯罪事実該当者の場合)は、こども性暴力防止法に基づき、

特定の業務に従事させないこと等の措置を講じる必要があるため、当法人の採用条件の一つとして、特定性犯罪の前科がないことを求めることとしています。

このため、予め、採用選考過程において、誓約書や履歴書等により、特定性犯罪の前科の有無を確認いたします。

※「特定性犯罪」、「特定性犯罪事実該当者」の内容は、別紙参照条文（第5号様式裏面）をご参照ください。

9. 選考方法

一次選考 書類審査

二次選考 面接および模擬授業(一次選考合格者のみ)

※ 面接等に係る旅費等は応募者の負担になります。

10. 応募締切

令和 8 年 11 月 30 日(月) 必着

11. 書類提出先

〒802-0985 北九州市小倉南区志井 5 丁目 20 番 1 号

北九州工業高等専門学校 総務課人事係

TEL: 093-964-7211 FAX: 093-964-7214 E-mail: s-jinji@kct.ac.jp

※ 提出書類書式は本校ホームページからダウンロードできます。

※ 封筒の表に「情報システムコース教員応募書類在中」と朱書きし、必ず簡易書留で送付下さい。

※ 提出された書類は返却致しません。応募者の個人情報、北九州工業高等専門学校の教員採用選考及び採用手続きのためにのみ利用致します。

12. 問合せ先

国立高等専門学校機構 北九州工業高等専門学校

生産デザイン工学科 教授 情報システムコース長 松久保 潤

TEL：093-964-7289 (直通) E-mail： jmatsu@kct.ac.jp

13. 備考

- 本校では、「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、総合評価において同等と認められる場合には、女性の応募者を優先します。
- 選考の評価等については、開示しません。
- 応募資格がないことまたは応募書類に虚偽の記載があると判明した場合、採用を取り消すことがあります。